

## 多様な研修制度で成長できる職場



成田税関支署統括監視官

(旅具通関部門担当) 付監視官

令和元年度選考採用

### 前職の知識を税関現場でブラッシュアップ

私は、入関する以前の約15年間、通関業者の通関士として税関に対する輸出入申告業務やフォワーディング業務を含め営業を行っておりました。在職中、船舶会社等への転職を模索していたところ、東京税関の選考採用の公募情報を見て、これまで申告書類を作成していた立場から、逆の審査する立場である税関の業務を経験できる千載一遇のチャンスと思い、選考採用試験に応募させて頂きました。

入関後は1年間、本関での業務部特別通関部門を経験して、2年目以降は成田税関支署の旅具通関部門に勤務しています。前職が通関業者でしたので、旅具の業務内容は畑違いでしかも業務内容も多岐に亘るため、初めはとても戸惑いましたが、先輩職員から丁寧に説明していただき、何とか業務を遂行することが出来ています。

旅具通関部門はいくつかの班単位で業務を行っています。班内の職員もこれまで多方面の部署において経験・知識を積んで来られた方々なので、私も知識のインプットが非常に充実しています。

また、業務に関して多様な研修体制が整備されています。途中で採用していただいた私にとっては税関職員としての最低限必要な知識の研修に加えて、前職の業務経験をさらにブラッシュアップ出来る研修を受講するようにしています。

### 水際最前線で税関の使命を果たす

入関してからまだ2部署目ですが、今後は前職の通関士としての経験・知識を活かせる業務を深堀していきたいと思っております。その為に業務に関連する資格の取得を目指し、諸先輩方のように知的武装できるよう努力していきます。現在は旅具通関部門として税関の使命のひとつである「安全・安心な社会の実現」を第一に貢献していますが、前職の経験・知識を活かし「適正かつ公平な関税等の徴収」「貿易の円滑化」の一助にもなるよう取り組んでまいります。

# 仕事と家庭を両立できる職場



羽田税関支署統括監視官  
(取締部門担当) 付監視官

令和元年度選考採用

## 「安全・安心な社会の実現」に貢献

前職は約14年間民間企業で勤務しており、国際会議、国賓来日対応などで多くの官公庁職員の方と仕事をさせて頂いておりました。仕事を通じて行政機関の重要性を感じ、税関の使命である「安全・安心な社会の実現」に感銘を受け、今までの経験を活かして国家・国民のために貢献したいと思い志望いたしました。

今は日々業務をこなすことで精一杯ですが、少しずつ経験と知識の習得に励みながら税関業務を習得し、プロ意識を持って「安全・安心な社会の実現」に貢献できるように業務に邁進して、不正薬物などの社会悪物品を摘発することが目標です。

## ワークライフバランスを実現

成田空港の旅具通関部門を2年、羽田空港の監視取締部門1年従事させて頂きました。どちらの部署であっても職員のレベルは高く、正直ついていけるか不安でした。しかし、税関では多くの研修が開催されており、一からでも知識を得ることが可能であり、更に所属する職員同士で支え合いながら業務を進められるので、緊張感を持ちつつ安心して仕事をする事ができております。

また、ワークライフバランス推進のための様々な取組が行われており、私は育児休業を1か月取得することができました。職員が男女を問わず仕事と家庭を両立して活躍できる組織だと感じております。

# 幅広い業務で学ぶことが多い職場



羽田税関支署統括審理官

(検察第3部門担当) 付審理官

令和元年度選考採用

## 水際での社会悪物品取締りに意義を感じて

私は、税関に採用されるまでは、厚生労働省の麻薬取締部という組織で約10年間、薬物の密売組織や末端乱用者にかかる捜査に携わってきました。

そうした中、税関と共同捜査する密輸事案等を通じ、税関という組織の存在を知り、興味を持つようになりました。

税関は使命の一つとして「安全・安心な社会の実現」を掲げているところ、日本で摘発される不正薬物の大半が税関によるものだという事実を知り、税関による水際での取締りが非常に意義のあるものだと感じたことから、選考採用試験に応募しました。

## 働きやすい職場で前職の知識を活かす

採用後は、羽田税関支署の旅具通関部門、本関の審理部門を経て、現在は、羽田税関支署の審理部門に勤務しています。

審理部門では、摘発した社会悪物品等にかかる犯則調査を行っており、当該調査は前職と似た職種であることから、これまで培ってきた知識・経験を少なからず活かしているのではないかと思います。

私がこれまでに配属した部門は、どの部門も課長クラスから係員クラスまで偏りなく配属されており、経験豊富な上司の方々や後輩に恵まれていたため、仕事をしやすい環境だと感じました。

また、ワークライフバランスの充実にも力を入れており、年次休暇の取得率も高く、私自身、私生活が充実するようになり、非常に働きやすい職場だと感じています。

税関業務は非常に幅広いため、学ぶべきことも多く、苦勞しているところではありますが、信頼のおける先輩や上司の方々の助けもあり、少しずつ業務に慣れてきているところです。

今後は、自分自身が信頼される先輩上司になるため、まずはこれまでの経験を活かせる審理部門で専門性を高めていきたいと考えています。